

# 正倉院の香薬

## 材質調査から保存へ

米田該典 著

2015年10月刊行予定

A5判・460頁／定価：本体10,000円(税別) ISBN978-4-7842-1821-9

本書は、平成6年(1994)から開始した第二次正倉院薬物調査に参加し、宝庫に伝存する香薬の材質調査の成果を中心に、長年考究してきた香薬についても加味して、著者により全巻書き下ろしたもので、先駆的な研究成果の集大成である。理系・文系を問わず、有機物の「文化材」保存とは何かを問う。

### 内容目次

- 第一章 香薬とその調査** 正倉院宝物とは／正倉院の香薬の調査：保存と利用から／宝物調査の詳細
- 第二章 香と香材の調査** 正倉院の香と香材／香道具のこと／香薬等で装飾された調度類／庫内の香・香材の調査〔沈香及雑塵 全浅香と黄熟香と黄熟香 白檀 木香：附・青木香 丁香 薰陸 琥珀 合香 香袋 裏衣香 練り香：正倉院の炭塊〕
- 第三章 薬物の調査** 薬物の現状と調査〔麝香 犀角器 阿麻勒(亡佚) 奄麻羅 無食子 厚朴 桂心 人參 大黃 臙蜜 甘草 胡同律 没食子之属 草根木実数種 薬塵：保存の過程で生じた断片 防葵と狼毒(ともに亡佚か) 獸胆 その他の薬物〕
- 附章 ある蘭方医の薬箱に見る香薬の保存例** 薬箱とは／洪庵の薬箱に見る薬物の保存例〔撰綿 將軍(大黃) 甘草 桂枝 梅那 菘根〕／シーボルトの残した点眼筐と薬瓶の調査／幕末の大黃製剤売薬『ウルユス』の分析
- 第四章 宝物を彩るもの：織布・紙に見る** 古代の天然色素材／染色材の調査〔蘇芳 紫鑛 茜根 紫根 その他の植物性色素料 銀泥 丹 朱・辰砂 雄黄 密陀僧(亡佚)〕／染色材の保存と劣化／布帛と紙／紙のこと
- 第五章 香薬の保存：正倉院での保存例** 正倉の構造／収納容器と包装／材質調査は保存のため／微小生物の調査／保存への提言例：中尾万三の調査報告から／附地下埋蔵物の発掘と保存例
- 終章 材質調査とは：理科学調査の歩みと課題** 文化財(材)の保存とは／文化財の理科学調査／文化財の材質とその調査／発掘木材の劣化／材質調査とその方法／有機化合物の分析／年代の測定／DNA解析の可能性／産地の推定／調査記録とデジタル化

附表 正倉院宝物の特別調査一覧／正倉院薬物とその関連歴史年表



正倉院の香薬  
(上：甘草 下：黄熟香)



よねだ・かいすけ...1943年、兵庫県生まれ。大阪大学大学院薬学研究科博士課程中退。薬学博士。現在、大阪大学医学部医学史料室。緒方洪庵記念財団・除痘館記念資料室専門委員。

## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	正倉院の香薬	本体10,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1821-9	
お名前		tel		本書HPのQRコード	
ご住所	〒	e-mail			
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

**正倉院宝物と古代の技**

木村法光著

正倉院宝物はどのような材料で製作されているのか。奈良時代の匠が用いた技術が優れていた理由は何なのか。長年、正倉院事務所保存課に勤務し、正倉院宝物の調査・研究、保存・管理に携わってきた著者の研究成果を一書にまとめる。

▶A5判・522頁／本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1809-7

**日本古代の武具 『国家珍宝帳』と正倉院の器仗**

近藤好和著

古代の器仗のありようを知るためには、貴重な基本文献・伝世品である両者を相関的に取り扱う必要がある。本書は『国家珍宝帳』と正倉院の器仗をそれぞれ詳細に解説し、図版編には正倉院器仗を中心に多数の器仗を収録。日本古代の器仗を理解するための基本図書を目指す。

▶A5判・470頁／本体8,500円(税別) ISBN978-4-7842-1766-3

**※正倉院宝物に学ぶ**

奈良国立博物館編

日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院研究の現在、八世紀の東アジア文化、宝物の保存・伝承の3つのテーマで報告・討論。正倉院宝物の精粋がわかる一書。

▶A5判・438頁／本体3,000円(税別) ISBN978-4-7842-1439-6

**古文化財の科学**

山崎一雄著

古文化財の科学的研究の第一人者による45年余にわたる成果をまとめる。正倉院宝物の調査・装飾古墳・高松塚・法隆寺金堂壁画・栄山寺八角堂・醍醐寺五重の塔・源氏物語絵巻などの顔料分析、正倉院の陶器・ガラスや緑釉陶などの科学分析、および銅鏡・銅鐸・青銅器などの成分分析に関する諸報告を収録。

▶A5判・380頁／本体6,300円(税別) ISBN4-7842-0482-2

**上村六郎著作集 [全6巻]**

上村六郎著

日本における染色学界の大先達であり、最長老である著者の永年にわたる研究の集大成。科学という専門を基に、古い文献の渉猟、日本はもちろん中国・インド・中近東・ベルシヤ・インドネシア等の広汎な研究は世界的にも評価されているものである。現代染織家にとって必須の書。

▶A5判・平均500頁／揃本体38,500円(税別)

**本草学と洋学 小野蘭山学統の研究**

遠藤正治著

本草学は、医学・天文学などと並んで西洋の近代科学と対比される東アジアの伝統的科学的の一つ。本書では、日本本草学の頂点、小野蘭山の学統を考察の対象にし、洋学の影響を受け国際的視野を備えた博物学的な本草研究の実態を探り、わが国最初の近代的植物図譜『草木図説』誕生の環境を明らかにする。

▶A5判・400頁／本体7,200円(税別) ISBN4-7842-1150-0

**東アジアの本草と博物学の世界 [全2巻]**

山田慶兒編

日本で遭遇した東の本草学と西の博物学。それらにおける知的冒険の展開を、学問・産業・芸術のような分野への影響を含めて多角的に考察した21篇。国際日本文化研究センターでの共同研究の成果。

上巻▶A5判・364頁／本体7,500円(税別) ISBN4-7842-0883-6

下巻▶A5判・376頁／本体7,500円(税別) ISBN4-7842-0885-2

**※漢方と薬のはなし**

大塚恭男著

東洋医学の伝統を受け継ぐ漢方医学。本書は北里研究所附属東洋医学総合研究所所長であった著者が、長年携わってきた漢方治療の経験から、その処方と効用をエピソードをまじえて紹介する。

【内容】私の漢方ことはじめ／東洋医学のすすめ／やさしい漢方／くすり徒然草／漢方読本／随想 思い出の人びと／思い浮かぶままに

▶A5判・280頁／本体2,621円(税別) ISBN4-7842-0822-4

**正倉院染織品の研究**

尾形充彦著

宮内庁正倉院事務所研究職技官として、一貫して染織品の整理・調査・研究に従事してきた著者による、35年にわたる研究成果。正倉院事務所が行った第1次・第2次の古裂調査(昭和28~47年)や、C. I. E. T. A. (国際古代染織学会)の古代織物調査方法に大きな影響を受けて、身につけた調査研究方法により進めてきた正倉院染織品研究の集大成。

▶B5判・416頁／本体20,000円(税別) ISBN978-4-7842-1707-6

**正倉院文書の国語学的研究**

桑原祐子著

古代史の史料としてのみ使われてきた正倉院文書は原本が存在し、他の古代の国語資料には求められない特質をそなえている。本書は正倉院文書のもつ可能性を引き出すべく具体的な語彙に注目し、文字の形態と語の意義の関係を明らかにし、新語の発生・ゆれ・定着の過程を実証し、語の変遷を考察した意欲作。

▶A5判・300頁／本体5,400円(税別) ISBN4-7842-1275-2

**正倉院宝物に学ぶ2**

奈良国立博物館編

日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院宝物の様々な面を報告・討論する第2弾。今回は2008~2010年の正倉院学術シンポジウム「正倉院研究の現在」「皇室と正倉院宝物」「正倉院宝物はどこで作られたか」の3テーマを収録。

▶A5判・348頁／本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1658-1

**中国南北朝隋唐陶俑の研究**

小林仁著

始皇帝の「兵馬俑」で知られる俑は、死者とともに埋葬される副葬明器で、中国の南北朝から隋唐時代は質量ともに黄金期である。本書は、豊富な実物調査に基づいて、膨大な数の資料を造形的特質、様式の変遷、地域性などによって整理し、豊富な図版とともに美術史・陶磁史的視点からさまざまな論点を提示する。

▶B5判・438頁／本体13,000円(税別) ISBN978-4-7842-1790-8

**中世後期の香文化 香道の黎明**

本間洋子著

香道の発生期の一次史料を基に、「香道の祖」とされる三條西実隆や「香道志野流の祖」志野宗信と香との関係の再検討、「香会」の具体的内容についての考察、天皇への香木献上や天皇からの薫物・匂い袋の下賜を数量的かつ具体的に考察する三視点から、中世後期の香文化を解明する。香道について初めての実証的な歴史的研究。

▶A5判・426頁／本体8,200円(税別) ISBN978-4-7842-1733-5

**松岡恕庵本草学の研究**

太田由佳著

江戸前~中期に活躍し、近世日本において本草学が博物学的に発展してゆくなかでその一翼を担った人物として評価される京都の本草家松岡恕庵(1668-1746)を主題に据え、その学問の実像に迫る。松岡恕庵に関する基本的研究書。巻末に資料編として松岡恕庵著作・関連資料目録を付す。

▶A5判・390頁／本体7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1617-8

**茶の医薬史 中国と日本**

吉岡真知子著

日本や中国の歴代医薬書の中には茶の記事があり、そこには茶の効能や処方のほか異名・産地・製法も記され、古辞書や『茶経』『茶譜』など茶書の抜粋も収録されており、非常に貴重な史料である。本書は、中国と日本の医薬書史料の影印を多数収録し、それらの史料から中国・日本の各時代における茶の様相とその歴史の変遷を明らかにする。

▶A5判・526頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1463-1

**※毒きのこ今昔 中毒症例を中心にして**

奥田康正・久世幸吾・奥沢淳治編著／松下裕恵挿画

きのこを愛してやまない眼科医の著者が、これまで渉猟してきた書物中の毒きのこに関する記述、中毒症例をまとめ、いまもって跡をたたない毒きのこ中毒に関する情報・治療について詳しく解き、きのここと上手に付き合う方法を紹介します。きのこ好きの方にはもちろん、救急医療に携わる人にもおすすめの書。イラスト230点余。

▶B5判・380頁／本体4,700円(税別) ISBN4-7842-1215-9